

1 はじめに

タブレットの利活用が始まって約6カ月が経つ。本校でも、成果と課題が少しずつ見えだしてきた。ここでは、成果として考えられるタブレット活用を紹介する。

2 活用例

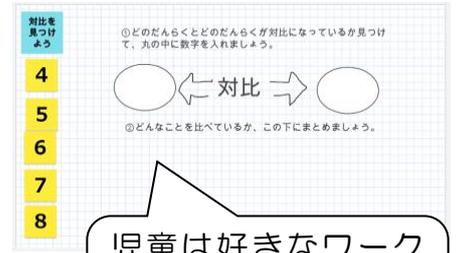
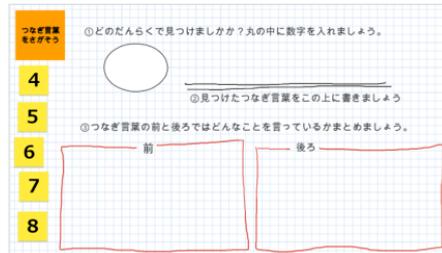
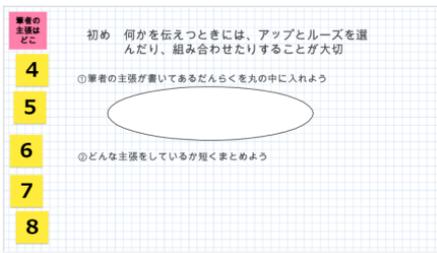
(1) ワークシートとしての活用

① 国語「アップとルーズで伝える」

この単元は、練習教材「思いやりのデザイン」と本教材「アップとルーズで伝える」がセットになっている。そこで、練習教材で筆者の考えを捉える練習をしてから、本教材の筆者の考えを捉える学習をした。その時に使用するワークシートをジャムボードで作成した。数種類のワークシートを同じジャムボードで作り、クラスルームの課題として配布した。児童はジャムボードの色々なページから自分の課題を選んで学習を進めた。付箋は自由に動かせるようにし、文字はテキストボックスか手書きで書き込めるようにした。

② 理科「電流のはたらき」

乾電池2個のつなぎ方を考える学習でも、ワークシートをジャムボードで作成し、様々なつなぎ方を考える手助けとなった。

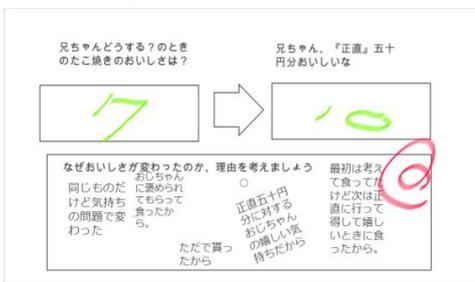


児童は好きなワークシートを選び、自分で学習を進める。

(2) 交流のツールとしての活用

共有ドライブに学級のフォルダを作り、そこでジャムボードを作成すると、相手の作成したページを見たり、児童同士で共同作成したりすることができる。

① 道徳「正直50円分」



この教材では、正直に話すことができない時のたこ焼きの味と正直に話すことができた後のたこ焼きの味の感じ方の違いに着目し、正直に行動することの大切さについて考える学習をした。児童は初めにジャムボード内の自分のページに考えを書く。次に他のページを見て、友達の考えを確認したり、それについてコメントを貼ったりする。また、友達のよい考えは自分のページに付け足

すことをする。そして、最後に全体で確認し、振り返りをして学習を終える流れとした。児童のがんばりに教師がその場ですぐに丸を付けたり褒めたりすることもできる。ただし、道徳なので、どんな意見でも否定しないように注意が必要であり、教師の評価の仕方が児童の思考に影響しないようにする必要があった。

